

災害検知AIシステム

ドローンやヘリコプター、高所カメラなどの映像から現場状況を素早く把握することで、現場における情報収集を迅速化

適用分野(業種・業務)

国・自治体、消防、警察

お客さまの課題

- 人の立ち入りが困難な場所や山岳などにおける遭難、災害時の被災人数の把握が難しい
- 災害時などの地滑りポイントや倒壊家屋、被害範囲の把握が難しい

解決策・お客さまメリット

①映像に小さく映る人物などを自動で検出

空撮映像で見落としがちな人物などを検出し、数量のカウントを実現します

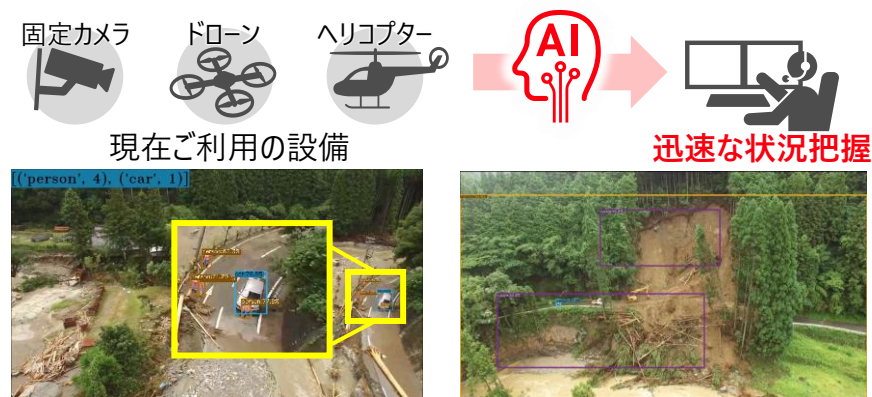
②車道の崩落箇所などを自動で検出

被害範囲を自動的に検出するため、救難の計画作成などに活用できます

③既存のカメラ設備を有効活用

すでに配備されている高所カメラ、ドローン、ヘリコプターなどから撮影された高所映像からでも、災害や人物を把握することが可能です

ユースケース



認識対象：5カテゴリ

損害	各種被害、洪水、地滑り、橋梁崩壊、家屋倒壊、煙/火事
環境	泥/汚れ、草、溶岩、岩、砂、低木、雪/氷、木(林)
インフラ	橋、ビル/建物、ダム/堤防、ガス管/水道管、電線、線路、電波塔、給水塔、道路
乗り物	飛行機、船、自動車、トラック
極小被写体	人、車

※任意の要素を指定した検知も可能です。ただし、上記記載以外の要素については、事前の検証が必要となります。